

平成21年度版

美唄市の環境概要

～ 平成20年度実績 ～

美唄市

〈目次〉

1. ごみ処理の現状	1
2. ごみ量の変化	2
3. ごみの組成	3
4. ごみ処理の経費	4
5. ごみの資源化・再利用	5
6. し尿収集	6
7. 地球温暖化への取り組み	7
8. 人と自然が共生できる環境づくり	8
9. 平成20年度取り組みと今後の取り組み	9
資料 施設の概要	
1. 美唄市一般廃棄物最終処分場	10
2. 美唄市立し尿処理場	10
3. 美唄市火葬場	11
4. 美唄市リサイクルセンター	11

1. ごみの処理の現状

美唄市では週2回(農村地区は週1回)の燃やせるごみと月2回(農村地区は月1回)の燃やせないごみの収集の他、プラスチックごみは週1回、紙パック・ダンボール・空き缶・ペットボトル・空きビンは月2回の資源物回収をしています。

粗大ごみについては、随時受付、毎月1日と15日の月2回(4月～11月)戸別収集を行っています。

平成20年度のごみと資源物の総排出量は、約9,942トンでした。埋立量は約8,499トンとなっています。また、資源となった総量は約1,442トンで、リサイクル率(※注)は14.5%となっています。

【処理方法】

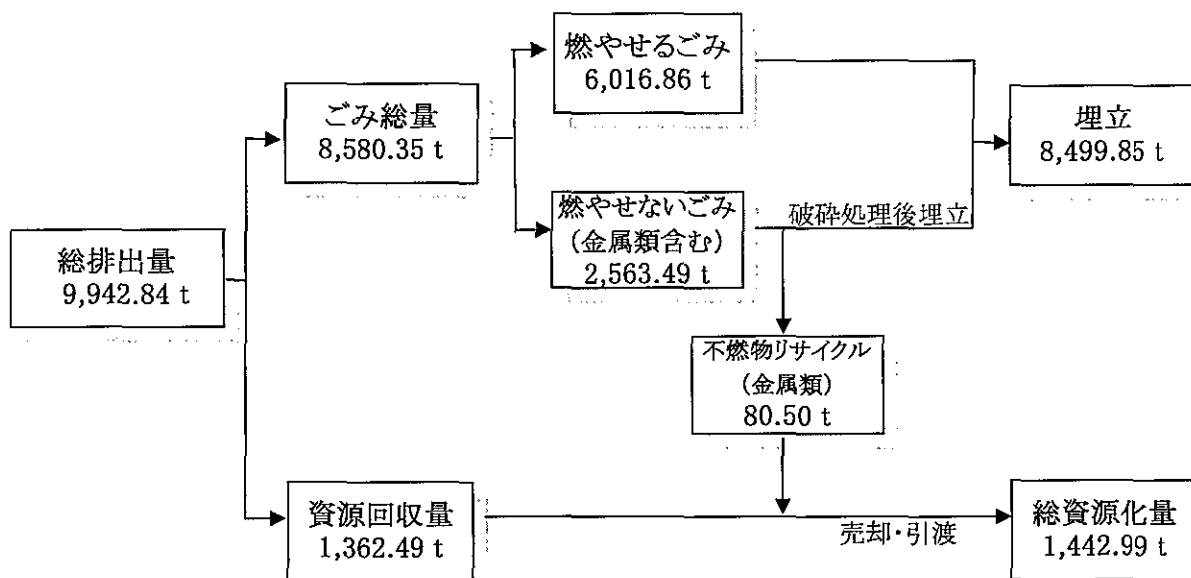
燃やせるごみ：全て埋立処理を行っています。

燃やせないごみ：埋立前処理施設で、破碎機によって不燃ごみ・粗大ごみを選別し易い大きさに破碎し、磁選機にて資源化物として鉄類が選別・回収されます。

また、破碎されたごみはストックヤードに一時保管後、埋立処理を行っています。

粗大ごみ：埋立前処理施設で破碎後、埋立処理を行っています。一部、再利用可能な物は、リサイクル品として選別し、再利用しております。

廃棄物の流れ



プラスチック	406.34 t	飲料用紙パック	11.90 t	
空き缶	スチール缶	105.94 t	乾電池	1.16 t
	アルミ缶	54.61 t	蛍光管	2.62 t
空きびん	無色	81.30 t	生きびん	11.09 t
	茶色	85.95 t	発泡スチロール	15.01 t
	その他	40.66 t	ダンボール	438.54 t
ペットボトル	107.37 t			

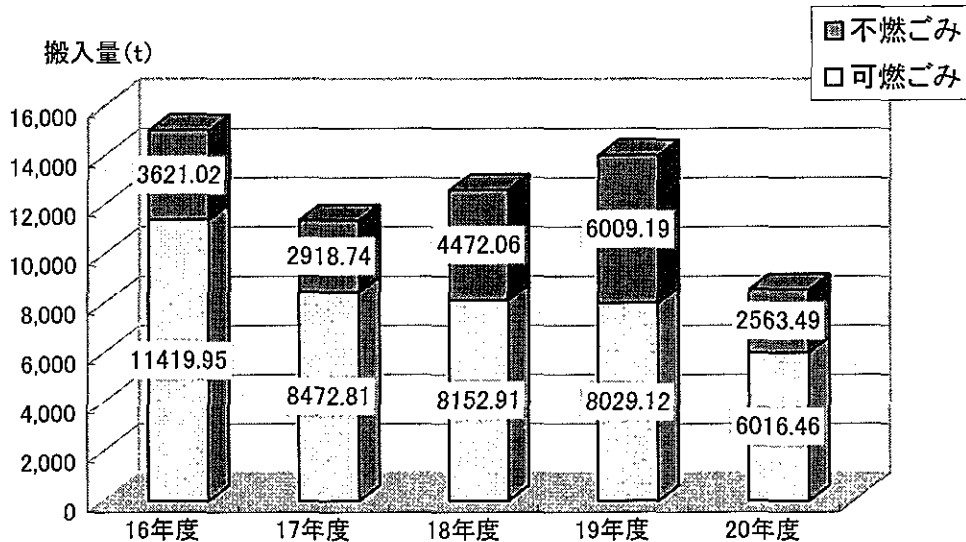
(※注)リサイクル率 = 総資源化量 / 総排出量 × 100

2. ごみ量の変化

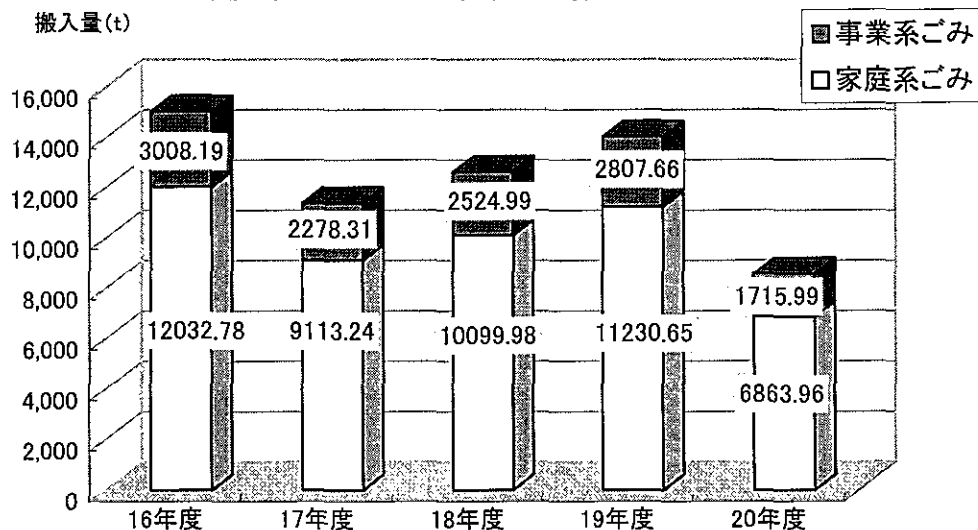
市民、事業者から排出され、一般廃棄物最終処分場に搬入されたごみ量は、平成19年10月からの「家庭系ごみ」の有料指定ごみ袋制度の導入により市民のごみ減量化意識が高まり、減少傾向にあります。

また、平成21年10月からは「事業系ごみ」につきましても、有料指定ごみ袋による従量制の実施により、一層のごみの減量化が図られるものと考えています。

燃やせるごみ及び燃やせないごみ搬入量の推移



家庭系ごみ及び事業系ごみ搬入量の推移

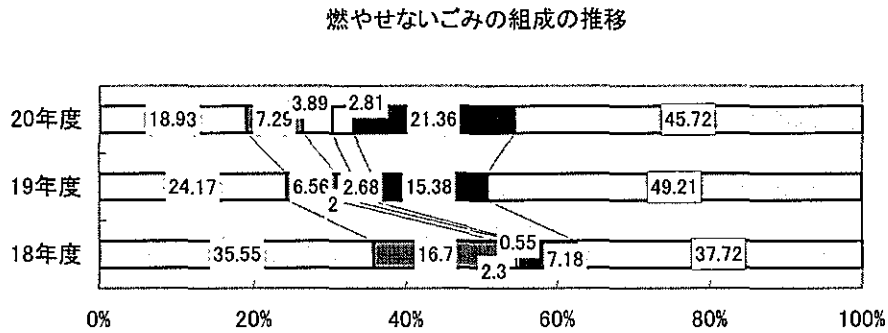
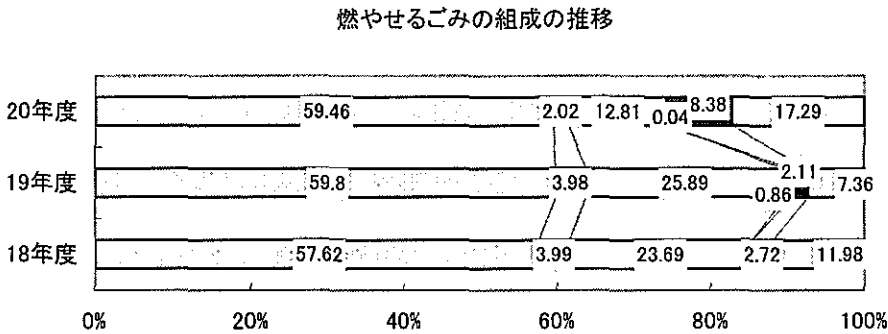
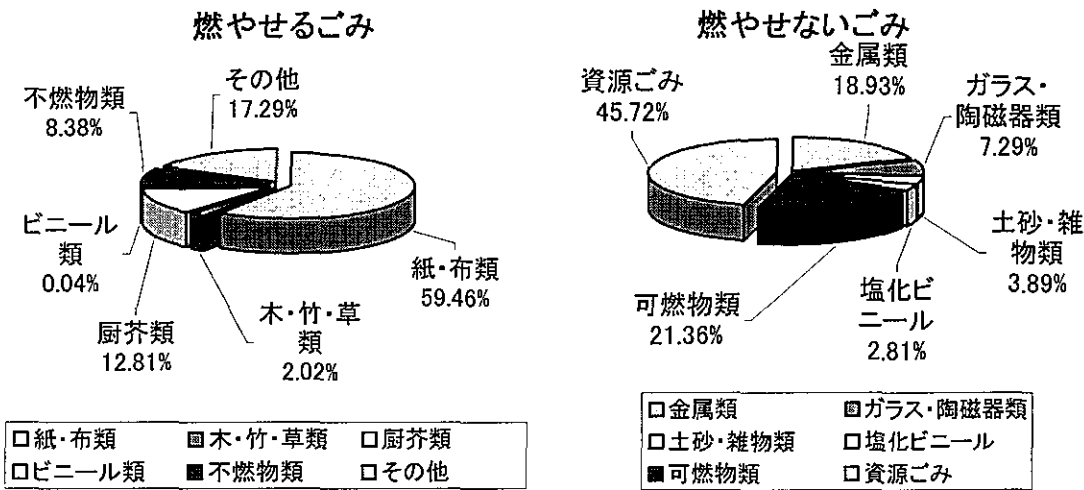


各事業所のごみ排出量は、総排出量の約2割と推計しています。事業所に対し、積極的な排出抑制の実施と事業系ごみの適正負担の周知、啓発を行っています。

3. ごみの組成

一般廃棄物最終処分場に集められた燃やせるごみの組成は、紙・布類は約59%で最も多く、次いで
 その他が約17%（その内、資源ごみが約7%含まれています。）で、この2組成で約8割を占めています。
 また、燃やせないごみの組成は、資源ごみが約46%で最も多く、次いで可燃物類が約21%であり、
 この2組成で約7割を占めています。
 このように、ごみとして排出されている物の中にはまだまだ資源化できるものが含まれています。

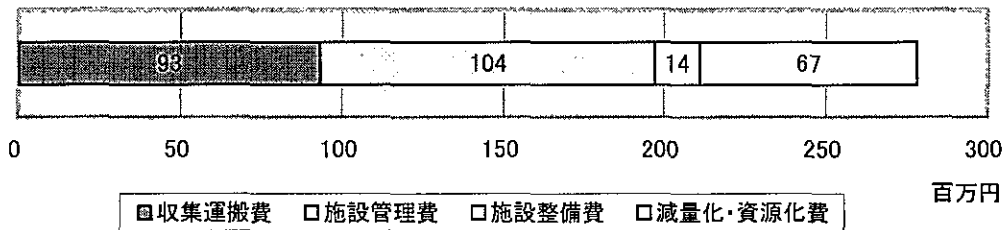
平成20年度ごみの組成



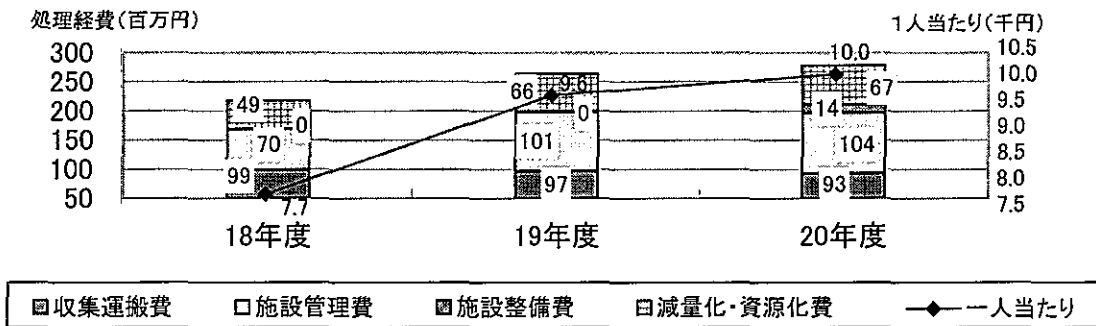
4. ごみ処理の経費

平成20年度に、市でごみ処理するためにかかった経費(燃やせるごみ・燃やせないごみ・粗大ごみ・資源ごみに係る処理経費と収集運搬費用の合計。ただし、起債償還額は除く)は約2.8億円でした。
これを美唄市民一人あたりに換算すると約10,300円、一世帯あたりでは約21,800円になります。
ごみの処理費を削減するためには、より一層の発生抑制や資源分別の徹底、生ごみの堆肥化などによるごみの減量が重要です。

平成20年度 費用別処理経費



ごみ処理経費の推移



●ルールを守って正しいごみ処理ルートに出します。

☆「ごみの出し方のルールとマナー」

・燃やせるごみ(週2回)、燃やせないごみ(月2回)は、市指定のごみ袋に入れて決められた収集日・時間までに定められた場所に出してください。

・粗大ごみ(3月～11月までの1日にと15日)は、事前(収集日前日午後5時まで)に市役所環境課(Tel.62-3145)へ申し込んでください(粗大ごみ1個に300円の処理券一枚が必要です。)

☆「有害なごみ」

・乾電池、蛍光灯、電球などは品物ごとに中の見える透明・半透明の袋に入れて、燃やせるごみか燃やせないごみの収集日に出してください。

☆家電やパソコンがいなくなったときは？

・家電5品目(テレビ・エアコン・電気洗濯機・電気冷蔵庫・電気冷凍庫)は、家電リサイクル法に則り処分しましょう。

・使わなくなったパソコンは「資源有効利用促進法」に基づきパソコンメーカーが回収します。

5. ごみの資源化・再利用

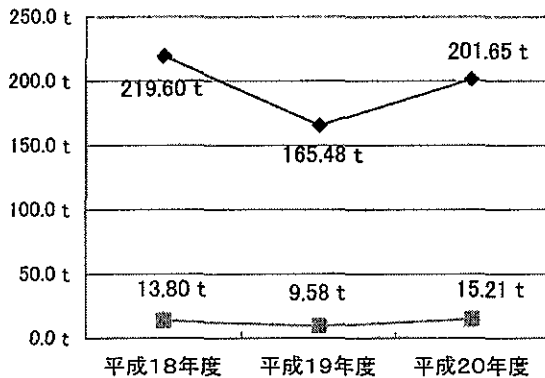
☆ 資源分別回収

資源の分別回収は、容器包装リサイクル法に則って推進しています。

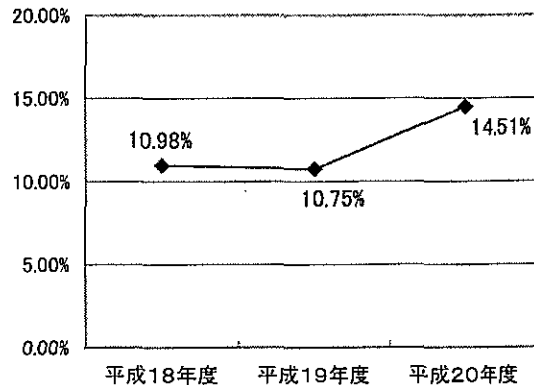
平成20年度に美唄市で回収した資源ごみ(プラスチック製容器包装・紙パック・空き缶・ダンボール・ペットボトル・空きビン・その他(蛍光管・乾電池等))の総量は約1,362トンで、処理を委託したり売却を行っており、平成20年度の資源ごみ売却料につきましては、約1,928万円が美唄市の収入となっています。

また美唄市で回収していない古紙(新聞紙・雑誌など)につきましては、平成20年度では、約201トンが町内会などによる集団回収が行われております。

集団(自治会)回収の推移



リサイクル率の推移

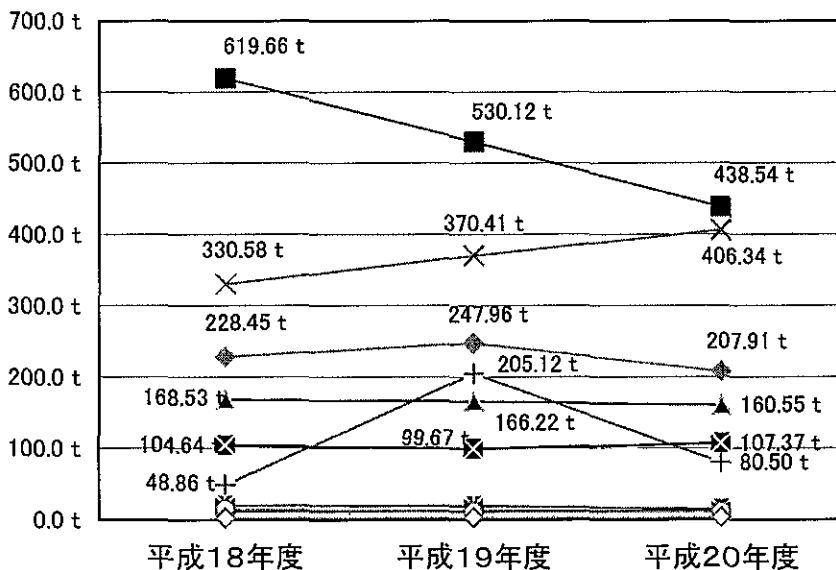


◆ 古紙 ■ 資源ごみ

注)リサイクル率の算出については総括I参照

回収量(t)

資源分別回収の推移

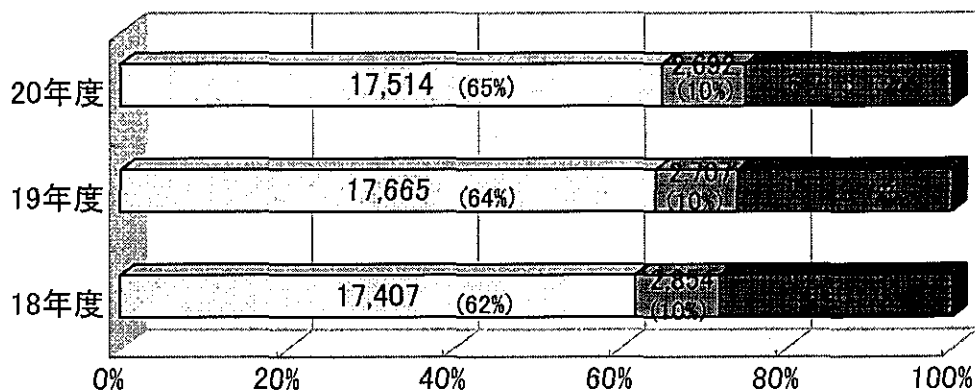


- ▲ 空き缶
- ◆ 空きビン
- ⊠ ペットボトル
- × プラスチック
- ⊞ 発泡スチロール
- 紙パック
- 生きびん
- ダンボール
- ⊕ 金属類
- ◇ 乾電池・蛍光管

6. し尿収集

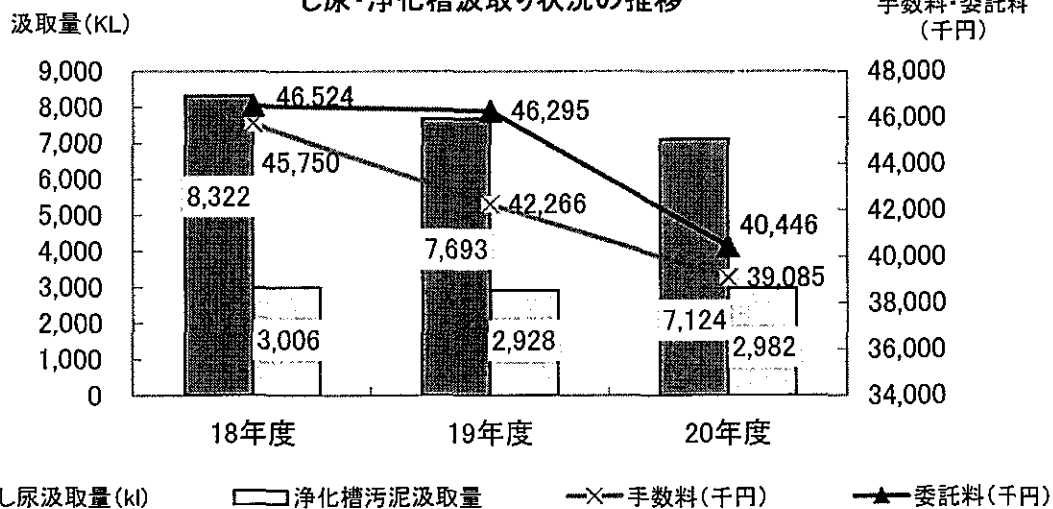
し尿収集(汲取り)量は、公共下水道の普及に伴い、年々減少しています。また、浄化槽の汲取り(清掃)は、許可業者2社によって行われています。

し尿処理人口の推移



□下水道人口 ■浄化槽人口 ■非水洗化人口(汲取人口)

し尿・浄化槽汲取り状況の推移



●生活排水をたれ流しにしません。

- ・排水を下水道に接続しましょう。(公共下水道が利用できる地区でまだ接続していない場合)
- ・合併浄化槽を設置しましょう。(公共下水道が整備されていない地区)
- ・浄化槽を定期的に点検しましょう。

7. 地球温暖化への取り組み

☆地球温暖化

地球温暖化とは、人間活動によって二酸化炭素など温室効果ガスの大気中濃度が増加することにより、地球表面の温度が上昇する現象です。

地球の平均気温は、過去100年間に約0.74度上昇しており、この気温上昇は、特に北半球の高緯度で大きく、また陸域は海域と比べてより早く温暖化しています。そして、2100年には世界平均気温が1.8～4.0度上昇し、世界平均海面水位は1993(平成5)年以降年3.1mm上昇していると予測されています。

地球温暖化を防止するためには、大気中の温室効果ガスを自然の生態系や人類に影響を及ぼさない水準で安定化させなければなりません、そのためには早期に現在の温室効果ガス排出量を半減以下にする必要があります。

☆美唄市での地球温暖化対策

美唄市では、自らの事務及び事業(庁舎におけるものに限らず、上下水道、公立学校、公立病院など、美唄市職員が直接実施するもの)に伴って排出される温室効果ガスの排出量の削減を行うため、削減目標を設定するとともに具体的な取組内容を定めた「美唄市地球温暖化対策実行計画」を策定し、平成24年度までに温室効果ガス総排出量を平成18年度比12.1%の削減を目指すとしています。

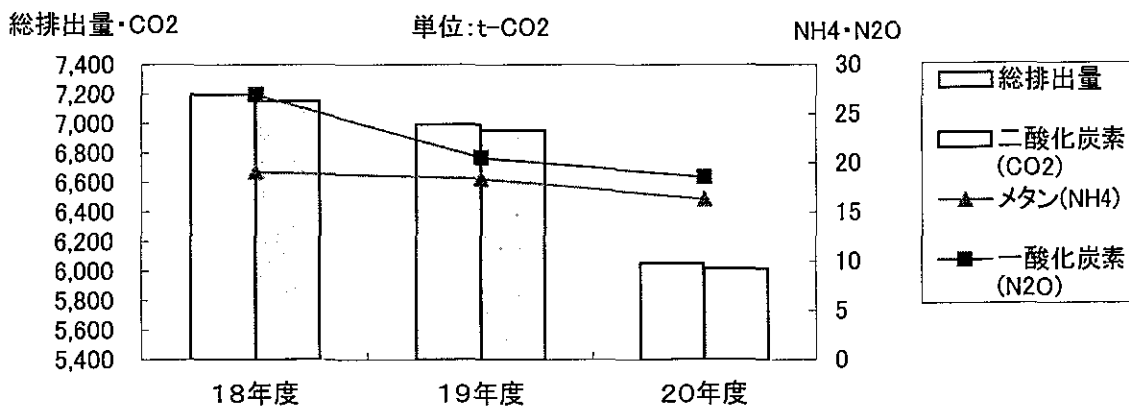
☆平成20年度の温室効果ガス排出量

美唄市の事務または事業を対象(他者に委託して行う事務又は事業は対象外)に実施。

平成20年度の温室効果ガス総排出量は6,055.9トン(二酸化炭素換算)であり、前年度(平成19年度)から940.8トン削減(△13.4%)しています。

また、美唄市地球温暖化対策実行計画の基準年(平成18年度)から1,144.9トン削減(△15.9%)しており、目標値(6,327.4トン、△12.1%)を達成しています。

温室効果ガス排出量の年度別比較



8. 人と自然が共生できる環境づくり

1. 自然環境の保全

☆宮島沼

宮島沼は日本最大、最北のマガン(国の天然記念物)の寄留地であり、平成14年11月にラムサール条約(ラムサール条約とは、湿地とそこに暮らす生きものを守るための国際条約です。)湿地として国内で13番目の登録地として認定を受けています。

毎年春と秋には6万羽以上のマガンが飛来します。

マガンのほかハクチョウやカモ類など100種類以上の野鳥もみることができる野鳥の宝庫でもあります。

☆宮島沼水鳥・湿地センター

平成19年3月に宮島沼水鳥・湿地センターがオープンしました。同センターは、四季折々の宮島沼の自然を楽しみ、地域の自然や農業とのふれあいの場を提供する「体験型」ネイチャーセンターです。

同センターを拠点として、環境学習会やボランティア講習会などの開催を通して市内外の人々に環境保全の必要性をPRするとともに、国の自然再生事業と連動した、国指定鳥獣保護区内の動植物の生態調査や水質調査などを実施しているほか、地域の農産物の加工体験や学校の課外授業なども実施しています。

☆宮島沼とマガンを保全・保護するため4つの目標

- <自然> 継続的なマガンの飛来に向けて市民が取り組み成果をあげることによって、美唄市は外からも評価・尊敬されるような姿を目指します。
- <農業> ゆとりをもった農業のために、マガンと共生することが大きなブランドとして営農の安定化に役立つような姿を目指します。
- <観光> 自然保全や農業を支える大きな手段として観光が力になり、美唄の様々な資源が組み合わせられて活性化するような姿を目指します。
- <人・教育> 市民が宮島沼とマガンを地域の誇りと認め、保全に向かって力を合わせる姿を目指します。

2. 環境悪化の防止

☆水質の保全

美唄市には、美唄川、産化美唄川、美唄新川など、大小多くの河川が流れています。

市内河川のうち、一般廃棄物最終処分場の処理水が放流されている産化美唄川及び、し尿処理場の処理水が放流されている美唄新川で定期的な水質調査を行っています。

両河川とも、国が示す環境基準を超えておりませんが、河川には絶えず負荷が与えられており、今後とも監視、調査を続けていく必要があります。

☆大気汚染防止

美唄市は、平成14年12月にダイオキシン類の排出規制強化により、国の基準を満たせないことからごみ焼却施設での焼却処理を中止しました。

また企業活動による人の健康に直接影響を与えるような大気汚染問題も発生しておりません。

☆公害防止

美唄市では、毎年、灯油流出等環境汚染が発生しており、灯油流出等による土壌汚染や河川の水質汚染の拡大防止に努めています。

過去3カ年の発生件数については、平成18年度は24件、平成19年度は36件、平成20年度は14件となっています。

9. 平成20年度の取り組みと今後の取り組み

市民・事業者の美化意識が高まるなか、生活環境をより良くすることを目的に、次のような活動等に取り組んでいます。

☆平成20年度の取り組みについて

1. 美唄クリーン作戦

美唄市衛生協力会連合会が主催となり、4月26日に市内全域を対象とした清掃活動を実施。
参加団体:市内地区衛生協力会、市内官公庁及び各事業所、市内のボランティア団体、学校関係等
26団体、680名が参加しました。

2. リサイクルフェア・フリーマーケットの開催

年1回。9月の秋祭りの時期に開催しています。

3. サンアール推進委員(サンアール=リデュース(減量)、リユース(再利用)、リサイクル(再循環))

環境美化・ごみの減量化・資源分別等を地域ぐるみで推進する必要があることから、各町内会からリーダー役として106名の方々に、サンアール推進員として活動していただいています。

4. 50音順ごみ分別辞典の配布

「50音順ごみ分別辞典」(保存版)を作成し、平成20年12月の広報紙に折り込み、全戸に配布し、ごみの適正な分別と排出、リサイクルの推進にご協力をお願いしています。

5. 一般廃棄物最終処分場視察

平成19年の稼働開始以来、施設見学を随時受け付けています。

☆今後の取り組みについて

1. 既に取り組んだこと

◇事業系ごみ処理手数料の改定

ごみ減量化・再資源化を推進するため「家庭ごみ」につきましては、平成19年10月からごみ袋やごみ処理券を購入していただいていた排出量に応じた費用負担をいただいているところではありますが、今後も一層のごみ減量化を進めるため、平成21年10月より「事業系ごみ」につきましても、これまでの事務所の面積と業態に応じて算定した手数料から「家庭ごみ」と同様にごみ袋やごみ処理券を購入していただき、実際に排出されるごみ量に応じた費用負担をいただく従量制へと改定いたしました。

2. これから取り組んでいくこと

◇燃やせるごみの資源化の検討

現在、燃やせるごみは、一般廃棄物最終処分場に埋立処理を行っていますが、平成24年度以降埋立処理を行わないことになっていることから、燃料化等資源化による有効活用について調査検討を行っています。

10. 施設の概要

1. 美唄市一般廃棄物最終処分場

- ①名称 美唄市一般廃棄物最終処分場(エコの丘びばい)
- ②所在地 美唄市字茶志内2658番2他(美唄市茶志内町1区)
- ③建物概要
- ・浸出水処理施設
敷地面積 939㎡
構造規模 1階 鉄骨造一部2階建て 地下 鉄筋コンクリート造
 - ・埋立前処理施設
敷地面積 462㎡
構造規模 鉄骨造平屋建て
建築面積 17,300㎡
埋立容量 105,200㎡
- ④埋立構造・能力等
- 埋立構造 準好気性埋立
- 遮水方式 二重シート構造(電気的漏水検知システム)
- 埋立期間 平成19年度～平成33年度の15年間
- 埋立対象 燃やせるごみ(平成23年度まで)、燃やせないごみ、粗大ごみ、し尿処理汚泥等
- ・浸出水処理施設
処理能力 90㎡/日
処理方式 水処理～生物処理(硝化・脱窒)+凝集沈殿+砂ろ過+活性炭吸着+消毒
汚泥処理～汚泥重力濃縮+遠心脱水
 - ・埋立前処理施設
処理能力 4.9t/日
処理方式 低速回転式破砕機(二軸式)+選別機(鉄類)
処理対象物 燃やせないごみ、粗大ごみ
- ⑤受入時間 午前8時15分から午後5時15分
- ⑥休業日 日曜日及び年末年始(12月31日～1月3日)
- ⑦管理方法 指定管理者制度

2. 美唄市立し尿処理場

- ①名称 美唄市立し尿処理場
- ②所在地 美唄市字美唄177番地の10(美唄市沼の内中央)
- ③建物概要
- 敷地面積 8,654.31㎡
- 構造規模 鉄筋コンクリート造地下1階地上2階建

建築面積 2,524.26㎡

床面積 地階 298.89㎡ 1階 1,152.16㎡ 2階 1,073.21㎡

④処理方式・能力等

処理方式 好気性消化方式

処理能力 55kl/日

汚泥処理 脱水後、美唄市一般廃棄物処分場へ運搬・埋立処分

⑤管理時間 平日 午前8時45分から午後5時15分

日直 下記休館日の午前8時45分から午後5時15分

宿直 午後5時15分から午前8時45分

⑥休場日 土・日曜日、国民の祝日、年末年始(12月31日～1月5日)

⑦管理方法 指定管理者制度

3. 美唄市火葬場

①名称 美唄市火葬場(美唄斎苑)

②所在地 美唄市字カーウシュナイ667番地8(美唄市光珠内町3区)

③建物概要

敷地面積 29,487㎡

構造規模 鉄骨造一部2階建

建築面積 1,508.33㎡

床面積 1階 1,274.19㎡ 2階 175.50㎡

④主要施設

エントランスホール、告別室1室、炉前ホール、収骨室2室、待合室3室、待合ロビー、事務室

⑤管理時間 午前8時45分から午後5時15分

⑥休場日 1月1日及び市長が別に定める日

⑦管理方法 指定管理者制度

4. 美唄市リサイクルセンター

①名称 美唄市リサイクルセンター

②所在地 美唄市字美唄1853番地2(美唄市南美唄町東町)

③建物概要

敷地面積 602.25㎡

構造規模 鉄骨造り平屋建

延床面積 497㎡

④主要施設

作業等、休憩室、トイレ等

⑤受入時間 午前8時15分から午後5時15分

⑥休業日 日曜日・年末年始(12月31日午後～1月3日)

⑦管理方法 指定管理者制度